

第2回 11月24日(木)【都市像ごとの検討】

※主なご意見をまとめたものです。

“協働と自立のまちづくり”グループ

『みんなでつくる「郷土」新潟!』

みんなが元気で 生きがいのあるまちづくり

定期健診(バスが来る)での受診率が高く病気の早期発見に役立っている。

農産地で農耕を生産現役で頑張れる。

障害者の地域参加、健康者との交流が少ない。

老若男女が集まりやすいイベントをやったほうが良い。

地域を担う人づくり 地域で取り組む教育活動

白根小学校では保護者やOBが結成し児童に楽しみを提供している。

白根地区の旧教育委員会跡地に「児童福祉センター」が建設される。

生涯学習・家庭教育・学校教育について今後不安がある。

福祉施設の不足。集まれる場が少ない。

災害に強いまちづくり みんなでつくる防災・防犯体制

昼夜パトロールを実施している会があり、安心・安全のまちづくりを担っている。

企業グループで見守り事業を行っている。

一般家庭向きの防災連絡網が不備である。

防犯灯が極めて少ない。もっと明るく!

“都市と自然が調和する新しいまちづくり”グループ

『農からはじまる新しいまちづくり 新潟の新農業ビジョンをつくろう』

水辺の利活用を!

三川合流の自然や信濃川(中之口川)などが良い。

水都と言いつながりながら水辺を活かしてきている。

弥彦山まで見渡せる田園風景の絶景がすばらしい。

中之口川、信濃川などの河川敷の整備を進めてほしい。(ピオトープなど)

川を利用した観光が可能。

水辺を自然のままにした方がよい。

食農教育

農家の熱心な人々の中には優秀な人材が多い。

農業従事者の後継者や商品街が不足しているため、休耕畑が増加している。

地産地消が可能。

農産物が日本一なのに宣伝が下手。全国に知れ渡っていない。

水質管理次第で良い米ができる。

農産物加工の研究不足。

“にぎわいのある魅力的なまちづくり”グループ

『にいがた 食からの発信!』

観光イベント

政令市記念事業の一環としてお祭りを再構築への期待!

風合戦などのPRが少ない。

交通の課題

コミュニティバスが便利である。

車に頼らざるを得ないライフスタイル。

食

海の幸や、山の幸が豊富である。

他県へのPR不足。第一産業をもっと全面に出した方がよい。

その他

国内外との拠点都市として、コンベンション施設・空港など良いものがある。

国際都市にふさわしい宿泊施設等が少ない。

工業団地がたくさんある。

工業団地が点在している。

四季を通じた観光ルートの確保!

人々のふれあいが生まれるまちに! ~観光地としての知名度UP~

合併を機会に地域で連携してイベントを活性化させる。



第3回 12月4日(日)【提言】

※主なご意見をまとめたものです。

“協働と自立のまちづくり”グループ

『みんなでつくる「郷土」新潟!』

◎みんなが元気で生涯生きがいのあるまちづくりをすすめます

市民の声を反映しやすい組織・体制を整えます

- 市民意識を芽生えさせ、みんなが参加できる組織づくり。
- コミュニティ協議会の有効的活動
- 敏速かつもれなく市民に伝達する連絡網、組織の「見える化」を推進しよう!

生涯学習に参加しやすい環境を整えます。

- 体を動かす機会や講座の増加など、身近で参加できる場所の提供を!
- 生涯学習を充実し、高齢化社会に対応すると共に地域の子供の育成を促進する。
- 施設見学、各種観覧などの実施。

◎みんなで災害に強い防災防犯のまちづくりに取り組みます

地域で防災意識をつくります。

- 地域の防災防犯は地域の力で行う。
- 自主防災組織の地区住民への告知、徹底。安全な通学路を確保します。
- 防災・防犯・街灯マップの作成と公開。
- 市民による1日1善の防犯活動を行う。

◎地域で地域を担う人づくりに取り組みます

地域の図書館・公民館を活用して、市民活動の支援、各分野のリーダーを育成します。

- 地域を担う人づくり、教育改革(子育て、一貫校、図書館と生涯学習、公民館と生涯学習)学校区を活かして交通体制を整えます。
- 合併に伴い学区が広がったため、通学にも便利な交通のあり方を再考したい。



“都市と自然が調和する新しいまちづくり”グループ

『農からはじまる新しいまちづくり 新潟の新農業ビジョンをつくろう 《景観・経営・教育・夢・結》』

◎すばらしい農業景観の維持

景観を維持する条例(大型店舗の規制)

- 農家の会社化で後継者不足の解消。
- 農家以外の働き手を確保。
- サラリーマン兼業農家塾の開設
- 自然環境田園風景の維持

◎食農・食育

意識啓発

- 小学生の継続的な農業実習。
- 農業学校研究施設での研修、プログラムの確立。
- 地元の農作物を知ってもらう学校教育、学校給食との連携。

◎新しい農業・農村経営

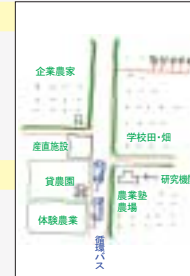
新規参入の模索

- 農業をやりたい人を支援するチャレンジ農業。
- 年中農作業ができるような農業経営。
- 地元商店街との連携、河川敷の有効利用。

◎地産地消

地産地消のあり方

- 消費者と生産者との連携。
- 食農・食育の促進。
- 作物品質のレベルアップ



“にぎわいのある魅力的なまちづくり”グループ

『にいがた 食からの発信!』

◎環境・福祉・交通

人に環境に配慮した交通システムの整備をしよう!

- 人に環境に配慮した交通機関の整備を!
- 環境に良いシャトルバスを動かし、便利地域づくりを!

◎観光イベント

四季を通じて人々のふれあいが生まれるまちをつくろう!

- 四季を通じた観光ルートの確保!
- 人々のふれあいが生まれるまちに! ~観光地としての知名度UP~
- 合併を機会に地域で連携してイベントを活性化させる。

◎食の“豊”庫

にいがたならではの「ごっつお」を活かしたPRをしよう

- “食の宝庫”にいがたを活かしたまちづくり。
- 飾らない「ごっつお」を活かしたPR

◎その他の提言

国際交流、産業を活性化しよう!

産業

- 6区内に最先端技術拠点の構築ならびに生産拠点を置き、新規産業の雇用充実を図る。

国際交流

- 対岸貿易の活性化。新潟市が世界にアピールできる産業の活性化を図る。

